

各 位



平成 26 年 4 月 30 日

会 社 名 株 式 会 社 ワ コ ム
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 正 彦
(コード番号:6727 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 財 務 本 部 長
長 谷 川 渉
(TEL 0120 - 056 - 665)

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 30 日開催の取締役会において、平成 26 年 3 月期を初年度とする「新中期経営計画 WAP1215」(3 ヵ年)を、下記のように修正することを決議したことをお知らせいたします。

記

1. 「新中期経営計画 WAP1215」(Wacom Action Plan for Changing Platform) 修正の理由

当社グループは、平成 24 年 10 月に「新中期経営計画: WAP1215」(平成 28 年 3 月期までに連結売上高 1,200 億円以上、連結売上高営業利益率 15% 以上、連結 ROE 30% 以上の達成をめざす)を発表いたしました。市場環境の変化やその影響を受けた販売状況の変化に加え、市場環境の変化に対応するための各種投資が増加したことなどから、当初計画を修正することにいたしました。

市場環境の変化としては、PC からタブレットへのユーザの移行に伴うペンタブレット市場の成長鈍化、コンシューマビジネスにおけるスタイラスペン市場の急速な低価格化、スマートフォン市場における高価格製品の成長鈍化、タブレット市場における急速な低価格化の進行といった点が挙げられます。このような市場環境変化の影響を受け、ディスプレイ製品は想定以上に強く推移しているものの、ペンタブレットの成長鈍化やディスプレイ製品への移行による製品ミックス変化に伴う粗利率の低下、新規モバイル製品やスタイラスペンの成長の計画未達、マルチタッチのハイエンド用途の需要の停滞など、想定していたほどに販売状況は進捗していません。その一方で、これらの市場環境の変化に対応するための各種投資が増加する見込みです。

このような状況に鑑み、基本戦略を維持しつつも、中期経営計画期間を平成 29 年 3 月期まで 1 年間延長するとともに、連結売上高目標値を 150 億円引き上げ 1,350 億円といたしました。

2. 修正した「新中期経営計画 WAP1215」(Wacom Action Plan for Changing Platform) の概要

財務目標(修正)

当社 34 期 (平成 29 年 3 月期) までに (修正)

- 連結売上高: 1,350 億円以上 (修正)
- 連結売上高営業利益率: 15% 以上
- 連結 ROE: 30% 以上

為替想定(修正)

- 1ドル100円、1ユーロ135円

基本戦略(修正なし)

ビジネスプラットフォームをPCからモバイル・クラウドへ拡大し、
新規ビジネスの創出と既存ビジネスの成長を図る

成長戦略(修正なし)

- ビジネスプラットフォームをモバイルとクラウドベースへと拡大する
- ブランド製品事業の成長を加速する
- コンポーネント事業の成長を加速する
- グローバルSCM(生産物流管理)体制を強化する
- グローバル組織化を推進する
- グローバルなIT(情報技術)インフラを整備する
- 新規UI(ユーザインターフェース)技術開発を加速する
- 新興地域への投資を強化する

ブランド製品事業の成長戦略(修正なし)

- ブランドリーダーシップ強化とユーザコミュニティの形成
- クリエイティブビジネスの成長を加速
- コンシューマビジネスの新規開発
- 特定業務分野向けビジネスの拡大
- 新興市場への投資と事業拡大
- 新規UI、新製品への開発投資を強化

コンポーネント事業の成長戦略(修正)

- スマートフォン、タブレット分野におけるリーダーシップを強化
- 教育分野やE-Bookでの新規ユーザの拡大
- WILL(Wacom Ink Language Layer)を基盤としたパートナー体制の構築
- ペン量産技術への投資と製品コストの低減

グローバル戦略(修正なし)

- グローバルSCM体制の強化
- 新興地域への投資強化と事業開発の加速
- グローバル組織化の推進

追加投資戦略(修正)

- テクノロジー基盤の拡大と新規アクティブESペンの製品化
- WILL(Wacom Ink Layer Language)によるデジタルインクの標準化
- クラウドプラットフォームとユーザコミュニティの推進
- ペン量産技術の強化と自動組立設備投資
- 事業モデルのグローバル化を支えるビジネスシステム投資

配当の基本方針(修正)

- 配当性向は連結ベースで40%以上を維持する

(修正箇所一覧表)

修正箇所	修正前	修正後
財務目標 (期間)	当社33期(平成28年3月期)までに	当社34期(平成29年3月期)までに
(財務目標の) 連結売上高	1,200億円以上	1,350億円以上
為替想定	1ドル75円、1ユーロ100円	1ドル100円、1ユーロ135円
コンポーネント 事業の 成長戦略	<ul style="list-style-type: none">• スマートフォン分野における成長を最大化• タブレット、電子ブック分野におけるリーダーシップを確立• マルチタッチICおよびソリューションの事業化を推進• 開発、SCM及びQA(品質管理)体制の強化• 新規UI技術開発と技術革新の加速	<ul style="list-style-type: none">• スマートフォン、タブレット分野におけるリーダーシップを強化• 教育分野やE-Bookでの新規ユーザの拡大• WILL(Wacom Ink Layer Language)を基盤としたパートナー体制の構築• ペン量産技術への投資と製品コストの低減
追加投資戦略		<ul style="list-style-type: none">• テクノロジー基盤の拡大と新規アクティブESペンの製品化• WILL(Wacom Ink Layer Language)によるデジタルインクの標準化• クラウドプラットフォームとユーザコミュニティの推進• ペン量産技術の強化と自動組立機械投資• 事業モデルのグローバル化を支えるビジネスシステム投資
配当の 基本方針	当社第33期(平成28年3月期)に40%以上を目指す	配当性向は連結ベースで40%以上を維持する

修正後の「中期経営計画修正説明資料」を当社ホームページに掲載しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。http://wacom.jp/jp/company/ir/disclosure_docs/index.html

以上